



なかの西
兵庫の東端

得意なとて
おせかい



Univer City
of Min'na
Amagasaki



学歴 偏差値
問いません

1+1が5にも
6にもなる化学反応



校則は
自由につゆえ。



先生の評価より
自分の納得感



まじめに
おもしろいことをする

こ"あい
しりあい
まなび"あい



みんなが
知っている大学は
ありません。

あたらしい仲間との
であい



大学案内
2019



1つのまにむら
センセイ

NO BORDER.
BE AMAGASAKI
CITIZEN.

建学の精神

生涯、学習！

みんなの尼崎大学では、
学び続けることで

次の3つのボーダーを
越えることを期待する。

尼大生諸君、
君たちに卒業はない。

一・日常を越えよう

仕事、役割、飲み仲間…

たまにはいつものところをはみ出して、
新たな価値を生み出しにいこう。

一・ちがいを越えよう

ちがいは人を分けるのではなく
豊かにするもの。

ちがいがあるから知りたくなる、
ちがいがあるからおもしろい。

ここでいろんなちがいに会おう。

一・自分を越えよう

私にはできないことも、

みんなならできるともかもしれない。

みんなとはだれかではなく自分のこと。

自分の殻をやぶる経験も

きつとできる。

みんなの尼崎大学生よ。

さあ、羽ばたこう。

ちがひ



12時からのランチミーティングはみんなでワイワイご飯を食べながら



誰でも参加できる学生相談室は、「尼崎でこんな活動・事業をしてみたい」「進めたいプロジェクトがあるのだけど、仲間が足りなくて」「あまりアイデアは出せないけど、お手伝いをしてみたい」など、活動の場を見つけたり、広げたりしたい方にはもってこい。毎月第2水曜日の9時から21時まで、あまがさき・ひと咲きプラザで開催しています。

学生相談室



19時からの放課後ミーティングはお仕事帰りの人も



学生証は即日発行できます!

みんなの尼崎大学

商学部

お店が教室、店主がセンセイに。杭瀬、中央、立花、立花ジョイタウン、塚口商店街による「商店街サミット」が運営しています。詳しくはP16へ。

生活科学部

生活協同組合コープこうべが運営する学部です。コープ園田2階「みなくる☆そのだコープさんところ」にて、第1土曜日にくらしの知恵や工夫に関する講座を開講中。詳しくはP18へ。

こども学部

子どものための地域拠点「TUMUGUBA(ツムグバ)」に集まる、子どものための団体による学部です。作文教室、英語、リトミック、学習塾など子ども向け講座を開いています。

ささえあい分野福祉学部

健康づくり学部

部活動

- 映画研究会
- プラモ部
- 図書部
- サマセミハーメルン楽団
- チャリ部
- みんなの尼崎大学放送部(みん放!)

自分で学部・部活を作れます

みんなの尼崎大学は、「学び」をキーワードにしたまちづくりのプロジェクト。まちじゅうをキャンパスにしたその活動をご紹介します。

みんなの尼崎大学ってなに?



オープンキャンパス

まちにあるいろいろなスポットを訪ねる大人の社会見学。これまでの行き先は公共施設、商店街、神社、森、材木屋など。毎回新しいアイデアと交流が生まれます。



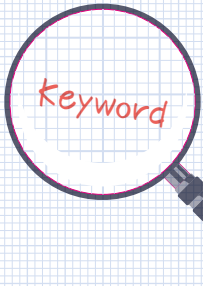
身体障害者福祉センターで、フライングディスク体験



子どものための地域拠点「TUMUGUBA」

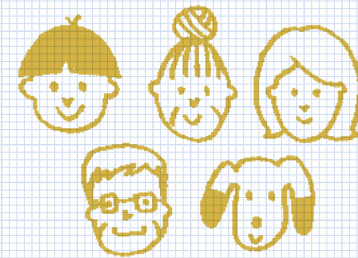


自分らしく最期まで生きられるまちを目指す「みとりまちプロジェクト」



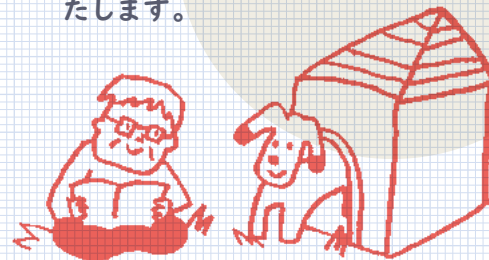
みんなが生徒

いくつになっても、好奇心を持って学ぶ楽しさはかけがえのないもの。みんなの尼崎大学は、「昔から勉強が苦手で」という大人も、「学校の勉強だけで手いっぱい」という子どももみんなが生徒。学校だけでは得ることのできない学びに出会える場です。



大学といっても、キャンパスは尼崎のまち全体。生涯学習プラザや図書館などの公共施設はもちろん、商店街やお店、公園、河川敷なども教室になるかもしれません。それぞれの学びの場が連携することで、まち全体が大学のような機能を果たします。

どこでも教室



みんなが先生

「好きなこと」や「誰かに話したいこと」は誰にだってあるはず。えらい先生や師匠じゃなくても、誰かの好奇心に火をつけることができれば、あなたも先生です。自分の学びを次の誰かに手渡すことで、さらに学びが深まります。



一生

ガクトク(学生特典)

商店街やまちのお店で「みんなの尼崎大学・学生証」を見せると、学生割引が受けられたりごはん大盛りなどの特典がいたり…。学ぶ人を応援してくれる48のお店の情報はホームページで紹介しています。



「中島商店」は日本酒三種飲み比べ500円を注文すると、好きな日本酒60mlのコップをもう一杯サービス!



「緑茶専門店 山田茶園」では、一押し銘茶の試飲サービスが受けられます。学生になれば嬉しいことがいっぱい!



夢を語る姿を
見るのが好き!

夢新聞協会
渡辺 愛さん



サマセミで「夢新聞」の講座を開講させていただきました。と言っても、私が何かをお教えるわけではなく、参加された皆さんの好きなことが叶った未来の日付発行の新聞を自分で書くというワークショップです。夢発表では皆さんニコニコ! 人の夢を聞いても自分の夢を話しても笑顔が溢れました! 皆さんの発表に、私自身が勇気をもらいました!

学生が紹介する



忘れられない キャンパスライフ メモリーズ

笑いあり涙ありのキャンパスライフには、
普段の生活では得られないような学びや刺激が待っています。
みんなの尼崎大学生が紹介する
忘れられない思い出の1ページ。



若さとエネルギーに
包まれて

「サマセミ」や「尼崎市民活動図鑑」でイキイキ楽しむ老若男女に感激。ユニークなプランを持ち寄り月一回気楽に相談し合う「学生相談室」では「エネルギーいただき爺さん」で若さ充電。商学部オープンセミナーでは美酒も堪能。「戯れせんとや生まれけん」りょうじんひしやう 梁塵秘抄ばりの人生を楽しむ四民大楽。しみんだいがく



学生相談室の常連
高橋 仁司さん



孤独だと思っていた専業主夫期間に、尼崎大学で数え切れない繋がりができた。気付けば皆勤賞で、生徒代表として挑んだ「入学式」の挨拶は大きな自信になった。働き手に戻った今では、育休中の嫁さんがみんなの尼崎大学を舞台上で活躍するのを陰ながら応援しつつ、主夫に戻る機会を伺っている(笑)。

つながりで
家族が笑顔に



藤井家
藤井 秀規さん
菜摘さん
和葉ちゃん
環ちゃん

楽しい講座が
たくさんあります



北村ファミリー

北村 博志さん
奈保子さん
誠くん

1月には「新春アマガサキお試しピザまつり」に家族で参加しました。息子と一緒に段ボール箱の内側にアルミホイルを貼って作った「ピザ窯」を囲み、大勢でワイワイしながら美味しいピザを頂きました。こういった楽しい講座の情報源は尼崎大学のFacebookと、何と云っても毎月のメルマガ「学報」。とても重宝しています。



旅のかたちは、
十人十色！



初体験の機会をあたえてくれた場所、尼崎大学。「ひとり旅の魅力をお話してみませんか？」その一言が始まりでした。その後、「みんなの尼崎大学放送部(みんな放!)」のラジオにゲスト出演。良いご縁に恵まれ、無形だったものが少しずつ目に見える形へと変化するのを感じました。ブツ旅イベントは、まだ始まったばかり。2019年さらに進化し続けます。

一人旅の伝道師
岸本くりすていーなさん



人との
関わり合いこそが大切



一般社団法人
尼崎青年会議所
岡本 光永さん

イベントの場所を探していますと「学生相談室」を訪れたのがきっかけです。園田北小学校区まちづくり協議会の皆様と共催で、同校にて各諸団体の皆様にもご協力いただき、大人も子供も学べる防災事業を開催。参加者は1,000名を超え、いつ起こるか分からない災害に「常二備エヨ」の言葉を刻み、防災知識・意識の向上に繋がる事業となりました。



尼崎大学で
ぜひenjoyを!

神戸学院大学
大野美波さん



私が尼崎大学の講義に参加したきっかけは、たまたまその日程が空いていておもしろそうだというささいなものから。そして、「エコピカ博士のおそうじ塾」やたばこオープンキャンパスに参加しました。どちらも、たくさんの知識を得ながら、楽しむことができました。本物の大学生にもオススメです!

魅力溢れる講師陣

これまでの授業に登場した、
尼崎が誇るすごいセンセイをご紹介します。
気軽にセンセイに会いに行けて、
質問できるところも
みんなの尼崎大学の魅力です。



このまちの
過去と未来を記録でつなぎたい

尼崎市立地域研究史料館
松岡 弘之さん

地域研究史料館は1975年に開館した文書館。歴史に関する市民の素朴な疑問に答えるために、古文書から新聞の折り込みチラシまで大切に保管しています。みんなの尼崎大学では、サマセミでの授業やオープンキャンパスを開催。話を聞くだけの座学ではなく、考え学べるワークショップを行いました。「記録は生きた証。日々の積み重ねが尼崎の歴史の一部になります」と話す松岡さんは、私たちの学びを全力サポートしてくれます。



ファシリテ
みんなが
生きやすい
まちに

NPO法人サニーサイド理事長
松村 史邦さん

「一人ひとりがやってみようと思うことを、まちのみんなで応援したい」と障がい者介護や就労支援を行うNPO法人の理事長と、ファシリテーション講師の二足のわらじを履く松村さん。2019年4月には、阪急園田駅前に子どもたちの放課後の居場所、駅近児童ホーム(民間学童保育)「つくし」をオープンします。ファシリテーションできる市民や市職員を増やし、誰もが自分の力を発揮できるまちになればと活動しています。



拳で伝える
思いやりの心

真正会尼崎支部師範
松井 厚さん

松井さんは5歳から82歳までの約160人を教える、フルコンタクト空手道場の師範。サマセミを参考にして始まった「武活」は、1日で柔術、システム、中国武術、空手などを学べる講座です。「武術の『武』という字は、2つの戈を止めると書く。武道、武術とは争いを止めるためのものだ」と、人を倒すためではなく、相手とコミュニケーションをとることの大切さを指導。「痛みから思いやりのある人を育てたい」と熱いハートは尼大生一です。





尼崎運河SUP体験レッスン (尼崎運河北堀キャンナルベース)

サーフボードよりも少し大きめの板の上に立ち、パドルを漕ぎながら水の上を散歩できるスタンド・アップ・パドルボード(SUP)を体験しました。北堀運河から中堀運河、蓬川まで1時間かけてぐるっと運河を一周。終了後、希望者にはSUPヨガ体験とピザのランチもありました。

護美奉行御用達「刀とんぐ」づくり (はんしんワーカーズコープ・地域共創Lab.)

三和市场にあるはんしんワーカーズコープで、まちのごみを退治する護美(ごみ)奉行の皆さんに教わりながら、ごみ拾い用トングに、紙で鞘(さや)や柄(つか)をつけたオリジナルの「刀とんぐ」を作りました。チラシをはりつけたり色を塗ったりして、作業中は大人も子どもも没頭しました。



大きい大きい紙芝居大会 (北図書館)

北図書館では「ぐりとぐら」や「これはのみのびこ」など、6作の紙芝居を上演。紙芝居といっても普通のサイズではなく、ボランティアグループひまわりの会のみなさん手づくりの、大人の体半分ほどの高さがある「大きい大きい紙芝居」。大迫力の展開に、子どもたちはすっかり紙芝居に夢中になっていました。

レッツ! キッズクッキング 皮から作る水餃子 (ホームホスピス心音(ここね))

富松町にあるホームホスピスで開催されたクッキング教室。大人と子ども合わせて10人以上が参加しました。皮から作る水餃子ということで、薄力粉と強力粉を混ぜるところから。ちょっと配分がちがった回もありましたが、できあがるとモチモチで絶品。ホスピス利用者と子どもたちの交流の機会にもなりました。



はじまるで〜! みんなの尼崎大学

2018. 10月6日 7日 8日

まちびゅう 学祭

場所: まちびゅう(尼崎市)
参加費=無料 ※ただし、実費・材料費のかかる講座もあります。

主催: 尼崎市

10月の三連休に、第1回「みんなの尼崎大学まちびゅう学祭」を開催。
まちのみんなが力を合わせて、一斉に、まちに、まなびを、まきおこした3日間。
じっくり考えるものからクラフト系、少し体を動かすものまで講座・ワークショップは50ほど。1000人以上が参加しました。

むぎわら音頭 (富松神社)

富松神社の斎庭で、収穫を祝うむぎわら音頭を踊りました。踊り方についての講義は特になし。太鼓と三味線が鳴り始めると輪になって、目の前で踊る達人を「心の師匠」として、見ようみまねでステップを踏みます。奈良時代から地域に伝わるこの踊りを1000年以上も前の人も、こんな風に踊っていたんだと思うと感慨深い気持ちになります。



部活紹介

みんなの尼崎大学内には、
 気のあう仲間と一緒に楽しむ部活が多数。
 部長からの勧誘メッセージとともに、
 その活動内容をご紹介します。

来たれ!
 新入部員



本をきっかけに交流しましょう!

図書部 立浪 雅美さん

本好きが集まって2018年5月にスタート。アクティブブックダイアログを開いたり、NPO法人コトハナとコラボして図書部ロゴを考えたりしています。本をツールにみんなで楽しみましょう!

いっしょに金型作ろうよ!

プラモ部 宮本 景根さん

尼崎のものづくりの力を集結して、尼崎城のプラモデル化を目指しています。現在は「しゃちほこ」を鋭意作成中。専門知識も資金もありませんが「知恵」と「縁」で乗り切ろうと挑戦しています。



家に眠っている楽器を持って集まれ

サマセミハーメルン楽団

清田 真希さん

2018年8月に開催された「みんなのサマーセミナー」に向けて結成。鍵盤ハーモニカや、リコーダー、ウクレレ等の楽器を演奏しながら、商店街やマルシェなどで練り歩いています。



みんなの尼崎大学 商学部 オープンセミナー

数ある学部の中から商学部オープンセミナーをご紹介します。
 お店を教室に店主さんが先生になって、プロの知識やコツを教えてください。
 お買い物だけでは分からない商店街の魅力を体験できます。

大人気講座をご紹介します



SECOND HOUSE (若王寺)

若王寺にあるカレーショップでは、ガラムマサラを作ります。数種類のスパイスのにおいを嗅ぎ比べながらオリジナルの組み合わせをデザイン。これをフライパンで炒ってミルで細かくしてできあがり。参加者それぞれの違う香りを比べて盛り上がります。



アライクイ食堂 (塚本町)

「女子一人でもできるお店のつくり方講座」では、商店街でお店を構える女性店主から、開業のノウハウをずっこけストーリーをまじえて解説。お店をやってみたくれど自分には無理かもと思っている人の背中を、先輩としてどんと押します。



商学部を企画しているのは…

商店街サミット

みんなの尼崎大学商学部セミナーは、市内5つの商店街からなる「商店街サミット」の皆さんが中心となって運営しています。



突撃!

トナリの 尼大キャンパス

みんなの尼崎大学は「どこでも教室」。
 まちの人が気軽に集まれる場が
 まちじゅうにあります。
 きっとあなたのお家のすぐ近くでも、
 今日も誰かが出会い、学び合っています。



🕒 小田公民館

JR尼崎駅北側にある小田公民館では、2018年6月に「おだのまなびヤ!」を初開催。これは、公民館の市民企画委員会で、みんなのサマーセミナー実行委員でもある企画委員の一人が、地元でもミニサマセミをやりたいと提案したのが始まり。市民企画委員と市職員と一緒に企画し、地域の人々がセンセイとなる全21講座を開講。アットホームな雰囲気の中で、参加者の心が一つになる一日となりました。

みんなが主役！
 多世代の地域のまなび舎



🕒 みなくる☆そのだ コープさんとこ

2018年2月に、コープ園田の改装に合わせてオープン。学びと集いの場にするために地域の団体が集まり、話し合いを重ねて「みなくる☆そのだ コープさんとこ」ができました。みんなの尼崎大学では「生活科学部」として活動。毎月第一土曜日には、暮らしや生活にまつわる講座を、毎月第二土曜日には、まちの人々が順ぐりにセンセイとなるみんなの尼崎大学出張講座を開いています。会場前にイベントカレンダーがあるので、チェックしてくださいね。

「生活科学部」で
 暮らしにまつわる学びを



サマセミ!



サマセミこと「みんなのサマーセミナー」は、夏休みの2日間、まちのみんながセンセイになる「学校ごっこ」。

センセイは本物の大学教授から人前で話すのは初めてという人まで。2015年から、有志の実行委員会が主催。そのメンバーは、高校の先生やSE、ライター、広告代理店、NPO代表、保育士、住職、主婦(夫)などさまざま。また、当日は高校生、大学生中心のボランティアが活躍します。

2018年は尼崎双星高校で300講座以上、のべ約6000人が参加しました。2019年は8月3日(土)4日(日)に尼崎城となりの琴ノ浦高校で開催決定!



キャンパスマップ

まちじゅうには
キャンパスがたくさん。

オープンキャンパス開催地
これまで22ヶ所。2018年度は18~22を訪れました。

生涯学習プラザ
公民館と地区会館がリニューアル。まちの人が集まり学び活動する、まちづくりの新たな拠点に。

図書館

体育館

地域総合センター

その他
青少年センター
総合文化センター
女性センター・トレビエ
すこやかプラザ
みなくる☆そのだこーぷさんとこ

大学
園田学園女子大学
関西国際大学
産業技術短期大学

※オープンキャンパス開催地については当時の場所(6:あまびつとを除く)。それ以外の施設は2019年4月1日現在の場所です。



で、尼崎のまちって

どんなまち？



ひと咲き まち咲き
あまがさき

「あまがさきで、人がまちで人と出会い、学び、活動する。花が咲き、実を結び、種を残し、また次の花を咲かせていくように、活動を見た人がまた人と出会い、学び、活動を始める。」

これは尼崎市のまちづくりのキヤッチフレーズです。

少子高齢化が進み、地域コミュニティが希薄化する。日本のどこでも聞かれる話です。

しかし、尼崎市では日本全体の人口が減るずっと前から、その局面を経験してきました。

私たちが受け継いだもの

1970年から50年間、尼崎

市は工業地帯であった南部を中心に、約10万人もの人口が減少しました。私たちはこの国の未来の課題を、先駆けて経験することになりました。

その中で水害や公害、戦災や震災といった数々の困難を、まちの人たちの「学び」の力で乗り越えてきました。それは私たちの財産です。

本当に住みやすいまち1位

昨年は、「本当に住みやすい街大賞2018 in関西」で1位に選ばれ、多くの人から支持されるようになった尼崎市。

でも一番の願いは、このまちに住む人が、このまちのことが好きで生き生きと暮らせること。

私たちが目指しているもの

近年、尼崎市は「コミュニティ」のキーワードでも注目度大。まちを超えて尼崎の活動に参加し、このまちが好きと引越してくる人も出てきています。

市制100周年には、「自治のまちづくり条例」を制定。

みんなの尼崎大学は、楽しみながらまちに関心を持つ人の入り口となり、まちのみんなが、まちのお困りごとを、自分のことと考えて動き始める——そんな未来に向かうまちを目指しています。

基本情報

人口：約450,000人(マイアミ市、マルタ市と同じくらい)
面積：50.72km²(形は北米大陸と似ている)
人口密度：8,900人/km²(兵庫県No.1!)
おとなりさん：伊丹市、西宮市、大阪市、豊中市

カードゲーム「ATTF2」とは？

アマガサキ・トゥ・ザ・フューチャー(ATTF2)とは、みんなで尼崎市の課題を知り、解決策を考えるカードゲームです。尼崎で暮らす人からの「きいて」というお悩みに、まちのお宝を組み合わせて「おせっかい」します。楽しみながらまちや身近な地域のことを考えるきっかけとなるよう、公民館職員や学校の先生たちと一緒に作りました。



大人も子どもも盛り上がります



市内の中学校で授業をしています

あなたも入学しませんか？

みんなの尼崎大学には、入試も入学金もありません。尼崎のまちに関心を寄せてくれる方であれば誰でもOK! 「いつでもだれでも入学願書」を書いて提出いただくと、みんなの尼崎大学オリジナル「学生証」をお渡しします。入学願書受付窓口は、みんなの尼崎大学事務局(あまがさき・ひと咲きプラザ内)や生涯学習プラザなど。現在、学生数は約800人。ゆるやかなコミュニティを作っています。

ウェブフォームからも入学できます。

<https://ws.formzu.net/fgen/S9202125/>

